

吟詠教本 和歌篇(上巻) CD【第一集】/【第二集】

No.	題	初句	作者	頁	収録CD
1	「古事記」より	八雲立つ	須佐之男命	2	第1集
2	難波津に	難波津に	王仁	4	第1集
3	貢物許されて國富めるをご覧じて	たかき屋に	仁徳天皇	6	第1集
4	聖徳太子、…	級照るや	聖徳太子	8	第1集
5	題しらず	秋の田の	天智天皇	10	第1集
6	有間皇子,自ら傷みて松が枝を結ぶ歌	家があれば	聖徳太子	12	第1集
7	額田王、近江天皇を…	君待つと	額田王	14	第1集
8	柿本朝臣人麻呂の羈旅の歌	天離る	柿本人麻呂	16	第1集
9	軽皇子、安騎の野に宿る時に、…	東の	柿本人麻呂	18	第1集
10	柿本朝臣人麻呂の歌一首	近江の海	柿本人麻呂	20	第1集
11	慶雲三年丙午、…	葦辺行く	志貴皇子	22	第1集
12	大宰帥大伴卿、酒を讃むる歌	駿なき	大伴旅人	24	第1集
13	この世にし	この世にし	大伴旅人	26	第1集
14	子等を思ふ歌一首	瓜食めば	山上憶良	28	第1集
15	沈痾の時の歌一首	士やも	山上憶良	32	第1集
16	山部宿禰赤人、…	天地の	山部赤人	34	第1集
17	神亀元年甲子の冬十月五日、…	若の浦に	山部赤人	38	第1集
18	題しらず	ももしきの	作者未詳	40	第1集
19	二十三日に興に依りて作る歌	春に野に	大伴家持	42	第1集
20	三年春正月一日に、	新しき	大伴家持	44	第1集
21	防人の歌	父母が	丈部稲麻呂	46	第1集
22	武蔵の国の歌	多摩川に	作者未詳	48	第1集
23	唐土にて月を見てよみける	天の原	安倍仲麿	50	第1集
24	題しらず	ほのぼのと	詠み人知らず	52	第1集
25	題しらず	世の中は	詠み人知らず	54	第1集
26	比叡山中堂建立の時	阿耨多羅	伝教大師	56	第1集
27	題しらず	花の色は	小野小町	58	第1集
28	駿河國うつの山に	するがなる	在原業平	60	第1集
29	月やあらぬ	月やあらぬ	在原業平	62	第1集
30	五節の舞姫を見て	天つ風	良岑宗貞	64	第1集
31	流され侍りける時	東風吹かば	菅原道真	66	第1集
32	海	海ならず	菅原道真	68	第1集
33	舊年に春たちける	年のうちに	在原元方	70	第1集
34	桜の花の散るをよめる	ひさかたの	紀 友則	72	第1集
35	白菊の花をよめる	心あてに	凡河内躬恒	74	第1集
36	平定文が家歌合に詠み侍りける	春立つと	壬生忠岑	76	第1集
37	春立ちける日詠める	袖ひちて	紀 貫之	78	第1集
38	七重八重	七重八重	兼明親王	80	第1集
39	心かはり侍りける女に、…	契りきな	清原元輔	82	第1集
40	天暦の御時の歌合	忍ぶれど	平 兼盛	84	第1集

吟詠教本 和歌篇(上巻) CD【第一集】/【第二集】

No.	題	初句	作者	頁	収録CD
1	屏風に	わが宿の	源 順	86	第2集
2	入道摂政まかりたる	嘆きつつ	右大将道綱母	88	第2集
3	題しらず	なげやなげ	曾禰好忠	92	第2集
4	題しらず	山城の	曾禰好忠	94	第2集
5	逢坂の関に庵室を	これやこの	蝉 丸	96	第2集
6	一条院の御時、	いにしへの	伊勢大輔	98	第2集
7	題しらず	寂しさに	和泉式部	100	第2集
8	性空上人のもとに	暗きより	和泉式部	102	第2集
9	大江山	大江山	小式部内侍	104	第2集
10	早くより童友だちに	めぐりあひて	紫 式部	108	第2集
11	題しらず	遙かなる	大式三位	110	第2集
12	みちのくにに	都をば	能因法師	112	第2集
13	師賢朝臣の梅津の	夕されば	源 経信	114	第2集
14	堀河院の御時、	照射する	大江匡房	116	第2集
15	障子の絵に、	ふるさとは	源 俊頼	118	第2集
16	夏の月を詠める	にはのおもは	源 頼政	120	第2集
17	陸奥の國に平泉に	ききもせず	西行法師	122	第2集
18	なでしこ	かきわけて	西行法師	124	第2集
19	三夕の歌「こころなき」	心なき	西行法師	126	第2集
20	題しらず	津の国の	西行法師	128	第2集
21	題しらず	さびしさに	西行法師	130	第2集
22	静 若宮八幡へ	しづやしず	静 御前	132	第2集
23	百首歌奉りける時、…	夕されば	藤原俊成	134	第2集
24	守覚法親王家に…	たちかへり	藤原俊成	136	第2集
25	三夕の歌「さびしさは」	寂しさは	寂蓮法師	138	第2集
26	五十首歌奉りける時	村雨の	寂蓮法師	140	第2集
27	左大臣家十題百首「十樂の心」	むらさきの	寂蓮法師	142	第2集
28	百首歌奉りける時、	山深み	式子内親王	144	第2集
29	百首歌奉りける時、	桐の葉も	式子内親王	146	第2集
30	立春の心を	み吉野は	藤原良経	148	第2集
31	家に花五十首歌よませ	昔たれ	藤原良経	150	第2集
32	鴨社歌合とて	石川や	鴨 長明	152	第2集
33	はこねにまうづとて	箱根路を	源 実朝	154	第2集
34	五十首歌奉りける時、	大江山	慈 円	156	第2集
35	春のころ大乘院より	みせばやな	慈 円	158	第2集
36	題しらず	おほけなく	慈 円	160	第2集
37	寛喜元年女御入内屏風	風そよぐ	藤原家隆	162	第2集
38	をのこども詩を作りて	見わたせば	後鳥羽院	164	第2集
39	三夕の歌「見わたせば」	見わたせば	藤原定家	166	第2集
40	守覚法親王の五十首歌に	しもまよふ	藤原定家	168	第2集
41	百首歌奉りける時	駒とめて	藤原定家	170	第2集